

1 月 24 日 : VN 指数は反落、下げ幅は 1 月 17 日以来の大きさに

ベトナム市場は全面安となった。銀行セクターに買いが入ったものの、大型株、金融株に売りが集中した。

ホーチミン市場の VN 指数は 2.25% 安の 1,439.71 ポイントで取引を終えた。

騰落別では値下がり銘柄数が値上がり銘柄数を大きく上回り、419 銘柄が下落、66 銘柄が上昇した。

また同市場の売買高は約 8 億 2,800 万株、売買代金は 24 兆 8,000 億ドン（110 億米ドル）を超えた。

証券セクターは軟調で、VN30 指数の下げを主導した。同指数は 2.05% 安の 1,471.31 ポイントで取引を終えた。

同指数採用銘柄のうち、24 銘柄が下落、6 銘柄が上昇した。

特に下げが目立った銘柄には、FPT グループ（FPT）-3.3%、ホアファットグループ（HPG）-6%、カンディエン不動産（KDH）-3.3%、マサングループ（MSN）-5.3%、モバイル・ワールド・インベストメント（MWG）-2.5%、ノブランド不動産投資グループ（NVL）-2.4%、ファットダット不動産（PDR）-4.9%、ビンホームズ（VHM）-4%、ビンコムリテール（VRE）-6.3%が含まれた。

証券株には利益確定売りが集中し、SSI 証券（SSI）ホーチミン市証券（HCM）、ベトキャピタル証券（VCI）、VN ダイレクト証券（CTS）、APEC 証券（APS）、ヴィエティンバンク証券（CTS）、BIDV 証券（BSI）、VIX 証券（VIX）といった多くの銘柄が売られた。

その一方で複数の銀行株が買われ、マーケットを下支えした。値上がり銘柄にはアジアコマーシャル銀行（ACB）+2.7%、ヴィエティンバンク（CTG）+0.3%、軍隊商業銀行（MBB）+0.9%、テクコムバンク（TCB）+1%、ベトコムバンク（VCB）+4.3%が含まれた。

ハノイ市場の HNX 指数は 4.09% 安の 400.76 ポイントで取引を終えた。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利はJSIに帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。